

[平成21年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

芝浦工業大学 システム工学部数理科学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 芝浦工業大学  
平成21年5月1日現在

担当部局（課）名	企画室
電話番号	03-5859-7200
F A X	03-5859-7201
e-mail	kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

# 目 次

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. 既設大学等の状況（省略）
5. 教員組織の状況（省略）
6. その他の全般的事項

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 芝浦工業大学

## (2) 大学名

芝浦工業大学

## (3) 大学の位置

〒337-8570

埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地  
(東京都江東区豊洲3丁目7番5号)

## (4) 管理運営組織

b 公表予定時期

(平成21年 10 月 1日 )

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(カトモ 友才) 長友隆男 (平成18年6月)		
学長	(ツグ アヤオ) 柘植綾夫 (平成19年12月)		
学部長	(コメダ 隆志) 米田隆志 (平成17年4月)	(ミウラ 昌生) 三浦昌生 (平成21年4月)	平成21年3月31日付任期満了につき変更(21)

(注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部 of 学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
システム理工学部 数理科学科 学士(数理科学)	4年	70人	0人	280人	

b 公表予定時期

(平成21年 10月 1日)

区分	対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	( ) 70人	/	/	/	1.02倍	
	志願者数	( ) 836	/	/	/		
	受験者数	( ) 817	/	/	/		
	合格者数	( ) 316	/	/	/		
B	入学者数	( ) 72	/	/	/		
	入学定員超過率 B/A	( ) 1.02	/	/	/		

- (注) 1 ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
1年次		[ - ] 72	/	/	/	
2年次		[ - ] -	/	/	/	
3年次		[ - ] -	/	/	/	
4年次		[ - ] -	/	/	/	
計		[ - ] 72	/	/	/	

- (注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [ - ] 0人	(累積)計 [ - ] 72人	[ 0% ] 0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 72人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ % ] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ % ] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ % ] %
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人		
(主な退学理由)			

b

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	English Social Issues II	2 後		2								
	English Critical Media Studies I	2 前		2								
	English Critical Media Studies II	3 前		2								
	English Analysis of New Social Movements	3 後		2								
	学外英語検定 I	1234 前後		2								
	学外英語検定 II	1234 前後		2								
	ドイツ語 I	1 前		2								
	ドイツ語 II	1 後		2								
	ドイツ語 III	2 前		2								
	ドイツ語 IV	2 後		2								
	中国語 I	1 前後前		2								学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	中国語 II	1 後		2								
	中国語 III	2 前		2								
	中国語 IV	2 後		2								
	韓国語 (朝鮮語) I	1 前後前		2								学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	韓国語 (朝鮮語) II	1 後		2								
	韓国語 (朝鮮語) III	2 前		2								
	韓国語 (朝鮮語) IV	2 後		2								
	フランス語 I	1 前		2								
	フランス語 II	1 後		2								
	フランス語 III	2 前		2								
	フランス語 IV	2 後		2								
	スペイン語 I	1 前		2								
	スペイン語 II	1 後		2								
	スペイン語 III	2 前		2								
	スペイン語 IV	2 後		2								
	体育講義	1 前後		2								
	体育実技 (フライングディスク)	1 前後		1								
	体育実技 (テニス基礎)	1 前後前		1								学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	体育実技 (テニス応用)	1 前後後		1								学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	体育実技 (卓球)	1 前後前		1								学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	体育実技 (バドミントン)	1 前後		1								
	体育実技 (ソフトボール)	1 前後前		1								学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	体育実技 (バレーボール)	1 前後後		1								学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	体育実技 (バスケットボール)	1 前後後		1								学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	情報社会と法	1234 前		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)
日本国憲法	1234 後		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)	
社会ニーズ調査概論	1 前		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)	
社会ニーズ調査技法	1 前		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)	
社会ニーズ分析	1 後		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)	
システムとは	1 後		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)	
経営行動科学	2 後		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)	
人間・社会システム概論	3 前		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)	
先端技術とビジネス	3 前		2								社会科学系科目の再編による科目の新設 (21)	
教育原論	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21)	
教育心理学	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21)	
教育の近代史	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	教育の現代史	1 後		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	教育社会学	3 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	体育実技 (ゴルフ)	1 前		1								学部定員増に伴う体育実技系科目拡充による増 (21)
	体育実技 (スキー)	1 後		1								学部定員増に伴う体育実技系科目拡充による増 (21)
共通科目 (基礎科目)	数学 I	1 前	2			1	4 3	0 +		1		昇格による教員配置変更 (21)
	数学 I 演習	1 前	1			1	4 3	0 +		1		昇格による教員配置変更 (21)
	数学 II	1 後	2							1		
	線形代数 I	1 前	2			4	1					
	線形代数 II	1 後	2			3	1					
	解析学 I	2 前	2			1	1					
	解析学 II	2 後		2				1 0 +				昇格による教員配置変更 (21)
	数値解析	2 前	2			1	2 +	0 +		1		昇格による教員配置変更 (21)
	微分方程式	1 後	2			1	3 2	0 +				昇格による教員配置変更 (21)
	確率統計	2 前		2			0 +					病気による就任辞退 (現在選考中) (21)
	近代解析	3 前		2							1	
	応用数学	3 後		2				2			+	教職課程科目と授業内容重複による廃止 (21)
	物理学 I	1 後		2								
	物理学 II	2 前		2								
	化学 I	1 前		2								
	化学 II	1 後		2								
一般力学 I	1 前	2										
一般力学 II	1 後		2									
生物学 I	1 前		2									
生物学 II	1 後		2									
共通科目 (システム基礎・情報科目)	計測工学	2 前		2								
	管理工学	3 前		2								
	エコロジー応用	3 前		2								
	信頼性工学	3 後		2								
	人間工学	3 後		2								
	社会と数理	2 前		2								
	環境マネジメントシステム論	2 後		2								
	環境マネジメントシステム演習	2 後		1								
	システム工学A(システム計画方法論)	2 前 後		2								科目名称整理による開講期変更 (21)
	システム工学B (数理計画法)	2 後 前		2				+				科目名称整理による開講期、担当教員変更 (21)
	システム工学C (プロジェクトマネジメント)	3 前		2								
	システム工学演習A	2 前	1			1	1					
	システム工学演習B	2 後	1			2	2 +	0 +		1		昇格による教員配置変更 (21)
	システム工学演習C	3 前		2								
	情報処理 I	1 前	2			1						
	情報処理 II	1 後	2				2 +	0 +				昇格による教員配置変更 (21)
	情報処理演習 I	1 前	1			1				1		
	情報処理演習 II	1 後	1				2 +	0 +		1		昇格による教員配置変更 (21)
創る	1 前		2		1	1					科目名称整理による科目区分変更 (21)	
電子・情報システム概論	1 前		2								システム・情報科目拡充による科目の新設 (21)	
機械・環境システム概論	1 前		2								システム・情報科目拡充による科目の新設 (21)	
生命科学概論	1 前		2								システム・情報科目拡充による科目の新設 (21)	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目	基礎数理セミナー	1 前	2			4 5	5 4	0 1	2		病気による就任辞退(教授) (現在選考中)、昇格による教員配置変更(21)
	解析基礎	1 後		2					1		
	集合と位相	2 前		2				1			
	数理科学演習 I	2 後	2			1	1		1		
	数理科学演習 II	3 前	2				3 2	0 1			昇格による教員配置変更(21)
	数理科学セミナー	3 後	2			4 5	5 4	0 1	2		病気による就任辞退(教授) (現在選考中)、 昇格による教員配置変更(21)
	数学特別講義A	3 後		2			1				
	数学特別講義B	3 後		2		1					
	数学特別講義C	3 後		2		1					
	基礎数理演習 I	1 前	1			1					
	基礎数理演習 II	1 後	1				1				
	基礎数理演習 III	1 後	1							1	
	解析学特論	3 前		2				1	0 1		昇格による教員配置変更(21)
	離散数学	1 後		2				1			
	初等整数論	1 後		2		1					
	代数学 I	2 前	2			1					
	代数学 II	2 後		2		1					
	代数学特論	3 前		2		1					
	幾何学 I	2 前	2			1					
	幾何学 II	2 後		2		1					
	幾何学特論	3 前		2		1					
	確率統計学特論	2 後		2		0 1					病気による就任辞退(現在選考中) (21)
	多変量解析 I	2 後		2		0 1					病気による就任辞退(現在選考中) (21)
	多変量解析 II	3 前		2		0 1					病気による就任辞退(現在選考中) (21)
	保険数学	3 後		2		0 1					病気による就任辞退(現在選考中) (21)
	金融工学	4 前		2		0 1					病気による就任辞退(現在選考中) (21)
	関数方程式論 I	2 前		2		1					
	関数方程式論 II	2 後		2		1					
	関数解析 I	3 前		2			1	0 1			昇格による教員配置変更(21)
	関数解析 II	3 後		2			1	0 1			昇格による教員配置変更(21)
	測度論	3 後		2						1	
	応用解析	2 後		2		1					
	応用数値解析 I	2 後		2		1					
	応用数値解析 II	3 前		2		1					
現象の数理	3 前		2			1					
シミュレーション	3 後		2			1					
数理生物学	4 前		2		1						
データ構造とアルゴリズム	2 前		2						1		
プログラミング演習	2 前		2						1		
計算理論	2 後		2			1					
オートマトン	2 後		2						1		
グラフ理論	2 後		2			1					
記号処理	3 前		2			1					
記号処理演習	3 前		2			1					
計算機代数	3 後		2			1					
最適制御理論	3 前		2			1					
数理計画法特論	3 後		2			1					
卒 業 研 究	総合研究	4 通	6			4 5	5 4	0 1	2		病気による就任辞退(教授) (現在選考中)、昇格による教員配置変更(21)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職課程科目	コンピュータ基礎	1 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	情報機器の操作	1 前後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	(教育原論)	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21) 総合科目(再掲)
	(教育の近代史)	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21) 総合科目(再掲)
	(教育の現代史)	1 後		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21) 総合科目(再掲)
	(教育心理学)	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21) 総合科目(再掲)
	(教育社会学)	3 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (21) 総合科目(再掲)
	教職論	1 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	教育方法・技術論	2 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	道德教育の研究	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	生徒・進路指導論	1 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	教育相談論	1 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	特別活動の研究	1 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	教育課程論	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	総合演習	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	数学科指導法1	2 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	数学科指導法2	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	数学科指導法3	3 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	数学科指導法4	3 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	情報科指導法1	2 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	情報科指導法2	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	事前・事後指導	3 後			1							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
	教育実習1	4 前後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)
教育実習2	4 前後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (21)	

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	教職課程認定に伴う自由科目の追加、 学部共通科目再編に伴う追加・変更
27	133	0	160	27	145	19	191	
				[ 0 ]	[ 12 ]	[ 19 ]	[ 31 ]	

(3) 未開講科目 該当科目なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	法学Ⅰ	2	1234	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
2	法学Ⅱ	2	1234	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
3	社会学の方法	2	1234	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
4	社会科学の方法	2	2	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
5	総合科目Ⅱ(社会と技術)	2	1	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
6	総合科目Ⅴ(情報化と国際化)	2	3	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
7	応用数学	2	3	一般	選択	教職課程科目と授業内容重複の為

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

数理科学科の学科設置申請後、システム理工学部全学科における教職課程の設置申請を実施。そのため教職課程に関係する学部共通科目の見直しによる新設科目との授業内容重複を考慮して上記科目を廃止することとなった。廃止科目はいずれも選択科目であるため、数理科学科設置以前からの在学学生を含め卒業要件上の支障はない。在学学生には新設科目の単位修得によって卒業要件上の不利がないことと、新設科目の学修によって廃止科目の内容を補完できることを新年度ガイダンス等で説明している。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	7	=	0.04
届出時の計画の授業科目数の計	160		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 6 その他全般的事項

### <システム理工学部 数理科学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
学部名称 (システム工学部)	学部名称変更 (システム理工学部) (21)
教職課程認定なし	教職課程認定申請に伴い、教職課程科目(24科目)を追加(21)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

学部の下にFD委員会が設置されている。また全学的組織として全学FD・SD改革推進委員会が学長の下で活動しており、現在はセンター組織化を目指している。

###### b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

b 公表予定時期 (平成21年 10 月 1日 )

###### c 委員会の審議事項等

主な審議事項は学生授業アンケートの実施・検討、および学部の優秀教育教員の選考である。

##### ② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

###### a 実施内容

- 1) 授業評価アンケート
- 2) 教員相互の授業参観
- 3) 優秀教育教員賞受賞者の事例発表と講演
- 4) 全学FD講演会
- 5) 新任教員研修会

###### b 実施方法

- 1) 授業評価アンケート・・・前後期前授業で実施、結果をWebで公開、教員のコメント機能、優秀教育教員の選考に利用
- 2) 教員相互の授業参観・・・すべての授業がアーカイブ可能で、何人かの教員は他の教員にも公開
- 3) 優秀教育教員賞受賞者の事例発表と講演・・・非常勤講師も含めた全教員の場で実施。
- 4) 全学FD講演会・・・平成20年度は2回実施。豊洲校舎と大宮校舎をTV会議システムで接続、配信。
- 5) 新任教員研修会・・・全学FDで平成21年度は4月と9月の年2回実施予定。4月は講義形式、9月はワークショップ形式

###### c 開催状況 (教員の参加状況含む)

教員相互の授業参観はまだ一部の有志に限られており、組織的实施が検討されている。  
 優秀教育教員賞受賞者の事例発表と講演は次の全学FD講演会第1回と同時開催。  
 全学FD講演会は平成20年の第1回(4月)は約200名、第2回(10月)は約50名であった。  
 新任教員研修会は21年4月の第1回は授業のあった1名を除いては全員の出席であった。

###### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケート結果の公開および優秀教育教員選考への利用は教員の授業方法改善への動機となっている。また、優秀教育教員の実例発表・講演もまた教員にとっては大きな刺激となっており、良い事例を積極的に取り入れようとする教員も多い。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「学校法人芝浦工業大学評価委員会規程」に基づき、自ら点検・評価を行い、大学運営をを大学設置趣旨の目的に添った展開を行うよう全学を上げて取り組んでいる。

また、大学においては大学全体の取り組みとして”チャレンジSIT-90作戦”において《教育・研究・イノベーションの一体推進の新たな挑戦》を推進テーマとし、各教学機関、センター等から年間の実施計画（行動計画）を年度当初に提出させ、学長室と各機関とのすり合わせ、中間報告、自己評価を含む最終報告を大学の全学会議で行い、PDCAの実質化を図っている。

平成16年度には、(財)大学基準協会の大学の認証評価を受審、平成20年度には専門職大学院（経営系）に認証評価を受審し、適合認定を受けた。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・公表済み

##### b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学HPでの公表等

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成24年度に評価機関（財)大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で準備中

(4) 情報提供に関する事項

① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成21年 10 月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. ) ※後日連絡(未定につき)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 平成21年 10 月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. ) ※後日連絡(未定につき)

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。  
また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secci@next.go.jp](mailto:d-secci@next.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。